

# 法学を学ぶのはなぜ？

## ——気づいたら法学部、にならないための法学入門

森田 果

2020年11月発売／162頁／本体1400円＋税  
四六判／並製



編集  
担当者  
から

『法学教室』の読者の皆さんの中には、まさにいま法学部で学んでおられる方が多いのではないのでしょうか。楽しく日々の学習に取り組んでおられる方も、自分に「法学」が合っているのか少し不安に思われている方も、それぞれいらっしゃるかもしれません。

本書は、個々の法律を学ぶ前に、もしくは少し学んでみたけれど自分がどこに向かっているのかわからなくなったときに、ぜひ読んでほしい、そんな一冊です。法学って他の学問とどう違うの？ 数ある学問の中でどんな役割を果たしているの？ 法学にできることとできないことって？ ——「法学」を一步外から眺めることで、その社会に占める位置が浮かび上がり、「法学を学ぶのはなぜ？」なのかも見えてきます。

もちろん、法学を学ぶ理由は複数あるはず。第2部では法学徒の先輩方が、法学のどんな魅力にいまも誘われているのか、エッセイをお寄せいただきました。

——さて、みなさんが「法学」を学ぶのはなぜですか？ (FOI)

Index

I

具体例がキラリと光る。高校生の皆さんにも！

### PART1 法学を学ぶのはなぜ？

#### CHAPTER1 法はなぜ必要か？

\*法があると社会はどう変わるか/\*具体例：ニューヨーク市の駐車禁止違反/\*法ルールが社会にもたらす効果

#### CHAPTER2 法のはたらき

\*交換取引と法ルール

#### CHAPTER3 さまざまなルール

\*法ルールとそれ以外のルール/\*法ルール以外のルール/\*なぜ「ルール」なのか/\*ことばとしてのルール

#### CHAPTER4 法を使う

\*法の解釈/\*「解釈」の具体例1：殺人罪/\*「解釈」の具体例2：不法行為

#### CHAPTER5 法をあてはめる

\*法の適用/\*司法試験の例——法の適用の具体例/\*医学と法学

### CHAPTER6 法を使う：応用編

\*法ルールを「予防」に使う

### CHAPTER7 法を作る

\*法ルールを作る/\*法律の作られ方

### CHAPTER8 法学ってなに？

\*法学と2種類の「学問」/\*法学の研究/\*さまざまな法学の研究/\*法学部に行く？ それとも、他の学部に行く？

### PART2 私がこれを学ぶ理由

——先輩からの10のメッセージ

飯田幸子(弁護士) / 井田 良(中央大学) / 大屋雄裕(慶應義塾大学) / 小貫 篤(筑波大学附属駒場中高等学校) / 笠木 映里(ボルドー大学) / 小島慎司(東京大学) / 島田裕子(京都大学) / 松井秀征(立教大学) / 山下純司(学習院大学) / 山城一真(早稲田大学)